

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点・課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	運営推進会議のメンバーに知見者や利用者代表の参加が望まれる。また、運営推進会議の開催と議事録の公表が望まれる。	地域やボランティア団体との連携、利用者、家族のニーズの再発見、また、運営について広く知ってもらい、専門的な立場から意見が聞けるようサービスの向上を図る。	職員間で運営推進会議の意義を勉強し、話し合いたい課題を抽出する。会議の開催方法を入居者、家族が参加しやすい方法で行う。会議内容の透明性を確保するため議事録を整備する。	2 か月
2	6	身体拘束等の適正化委員会の3か月に1回の開催、及び議事録の作成と職員への周知が望まれる。職員に対する身体的拘束等の適正化のための定期的な研修の実施が望まれる。	研修受講者やビデオ等の活用、研修の機会を設け身体拘束の弊害をしっかりと認識し、身体拘束廃止に向けて取り組む。	身体拘束等の適正化委員会を3か月に1回開催する。身体拘束を含む高齢者虐待の勉強会を3か月に1回実施していく。職員は、研修等に参加していく。	1 か月
3	7	ミーティングで虐待防止についての話し合いはされているが、虐待防止のための定期的な研修の実施が望まれる。	研修の機会や介護技術、認知症への理解、業務の見直しを行い、職員へのストレス対策も十分に図り、虐待を早期発見し未然に防ぐ。	人員不足による職場環境の悪化を作らない。研修の実施を行う。	1 か月
4	35	消防署と連動した自動火災報知設備の整備が望まれる。昼夜を想定し、年2回の消防避難訓練の実施、及び消防設備等の年2回の定期点検の実施が望まれる。職員分の備蓄と食料等の備蓄リスト、及び献立表の作成が望まれる。	職員がいざという時にマニュアルに沿えるよう消防署員立ち合いの下、避難訓練を行う。また、訓練実施の際は、地域住民への参加の呼びかけを行う。	年2回の消防避難訓練を行う。消防設備等を定期的に点検し、火災などの際に確実に作動するよう維持、管理を行う。	3 か月
5	12	労働安全衛生法に基づく職員の年1回の健康診断の実施、及び夜勤を定期的に行っている職員の年2回の健康診断の実施が望まれる。	職員の健康維持管理のため健康診断を実施し、ストレスチェック、健康相談等、働きやすい環境作りに努める。	職員全員の健康診断の実施。夜勤勤務に就く職員については年2回の健康診断を行う。	2 か月
6	47	服薬支援マニュアルの確認と手順遵守を職員へ周知徹底することが望まれる。	毎食毎の内服介助の際に、職員間でマニュアルに沿ってをきちんと実行できているか確認しあう。	薬の重要性について十分に理解し、リスクについても勉強会の中で説明を行う。	1 か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。